

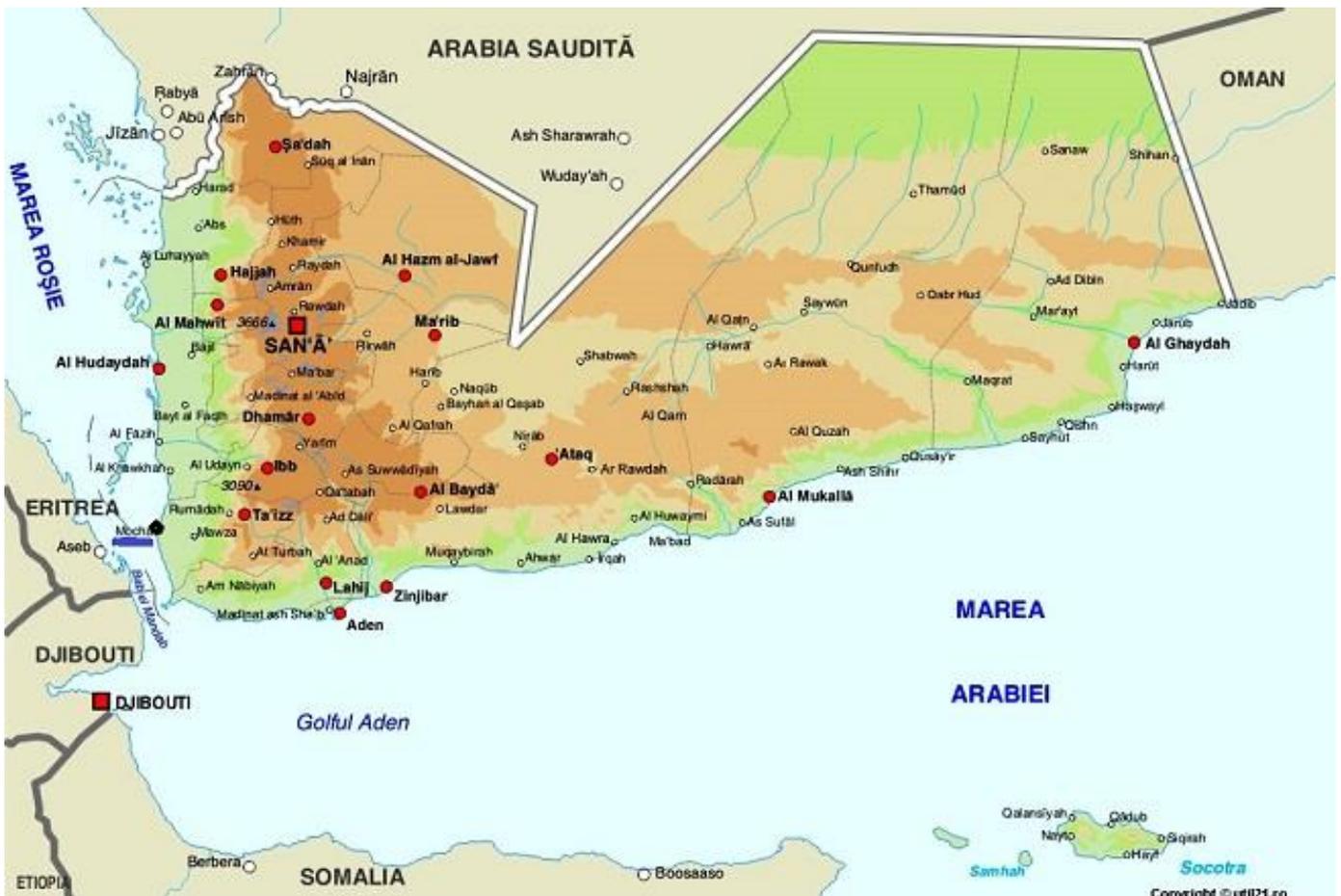
12 月度土曜例会 (2014/12/04)

今日は、イエメンから初めてのスピーカーをお迎えしました。イエメンって、どんな国？中東のどの辺り？気候風土は？産業は？…殆どの日本人にとって馴染みの薄いイエメンについて、今日はその魅力をたっぷりと話してくださいました。現在は大阪大学 PhD の研究員、**Mr. Hani Al-Shareef** さん、(正式に名前を書くともものすごく長い、家族何代にも渡りとても覚えられないのでは?) イエメンでは 4 年間、病院で歯科医(専門は口腔外科)を勤め、12 人の大家族(ご両親と兄弟 9 人)で暮らす方です。日本在住のイエメンの人は 27 人、中でも大阪在住は彼 1 人という貴重な存在。タイトルは、**Yemen, the origin of Arab** です。



アラビア半島のちょうどカトになるところに位置するイエメン。日本からは飛行機でドバイやドーハなどを經由して 18 時間程かかります。砂漠とベドウインのイメージの国でしたが、ハニさんの楽しいお話ですっかり憧れの国となりました。温暖な気候で果物や野菜は豊富。アラブ海に浮かぶ世界一不思議な島ソコトラにはドラゴンブラッドトリー(竜血木)がいっぱいです。太古、月を崇めた最後の王朝シバよりもっとも昔に、全てのアラブ人はイエメンから拡がって行った。家族が一番大切、アラブ語では愛や花、夫や妻、それを表す言葉が何種類もある事、実はお酒は楽しんで飲んでいる事、今は政情が不安定ですが、それが落ち着く頃には、是非訪ねてみたい国です。

イエメンは山と砂漠と海岸線のグリーン地区に分かれます。山の上に泥の家があったり(煙が立ち上っていますが、燃料に木を使うからです)、雨を利用しての棚田ではヤサイ作り。でも雨はほとんど降らないので、谷間に池?が出来ますが、乾季には干上がってしまう場合もある。水はとっても貴重です。紅海(暖かい海)とアラブ海(冷たい海)に面していて漁業が盛ん。小型の



魚は骨多くして身が少ないゆえに、イエメン人は大型魚派。刺身文化は無し。深海で採れるタコ・エビ・カニは採れても捨てる（食べない）、最近小型エビ（シュリンプ）はやっと食べるようになった。

国土面積は日本より少し大きく、人口は 24 百万から増加中（若い国です。14 歳までが 44% もあり、高齢者はたったの 2%）。首都サナ。イエメンタイガー（the arabian leopard）、ヤツガシラと言う鳥が国を代表する動物。200 程の島がある。そのひとつのソコトラ島は世界遺産。固有種の動物そして竜血木、等の植物が世界的に人気。



ハニさんの出身地はコーヒーで有名な Mocha、いわゆるコーヒーベルトの緯度に位置していて、かのモカマタリの産地（マタリ村）。ハニさんは祖父母の農場からのコーヒーやハチミツを採取出来るので買った事が無い。天然のハチミツは高品質過ぎて直接食べるとノドを痛めるそうで、お茶とかで薄めて食べる。

シバ王国以前の太古の時代にアラブの人々は色々な国に拡がっていきました。オマーン、イラク、スーダン、チュニジア、等々。もともとアラブ人は 2 タイプ（アラブ・アリバ、アラブ・クスタラバ）だった。今は多民族に分かれている。1839 年～1967 年、英国支配時代（ソコトラ島だけはトルコ支配）。1962～、南北に分かれている、1990 年のアラブの春を経て、2011 年共和国に。

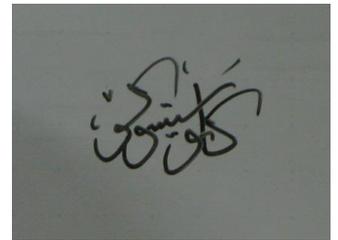
言語もイエメンから発祥。アラブ諸国の中でイエメンにだけ山や自然が豊富。宗教は、シバ時代は月や太陽、そして、ユダヤ教→キリスト教→イスラム教。現在は 99.9% がモスリムというわけです。一日 5 回のお祈りをする。夜明け前頃から日没（空が赤く染まっているギリギリ時間にも）頃の間、適宜行う。ラマダンもある。敬虔な信者ばかりでは無いが、要は信じる心が大切。

年間気温はほぼ 21 度前後（山や砂漠は別ですよ）。石油、天然ガス、農業（棚田）。物価は安い（夏のトマトなどは 20 キロで 30 円）。家族中心で、大家族制度。ハニさん自身は 10 人兄弟姉妹の長男（彼は 31 歳、弟 5 歳！）。お産も特別な場合だけ病院ですが家で産むのが基本（日本も昔はそうでしたよね）。ちなみに、ハニさんの母上（肝っ玉かあさん？）は声も上げずに出産なさるそうで、、、えらい！結婚しても夫の実家でいっしょに暮らす。床の上に置いた一枚のお皿を家族で囲み、父母が食べ始めてから子供も食べ始め、時には楽しく奪い合い、水はヒトツのグラス、数個のスープカップ、食後のお茶だけは個人用のカップを使用。仕事より何より家族が一番大切。夫は午後 2 時には帰宅して外食はめったにしません。素晴らしい！・・・・・・愉快的ハナシ。ハニさんは薄毛です。けっこう気にしています。写真を撮る時は帽子を被る、父親と間違われるから。両親は 18 歳と 16 歳で結婚されてますよね。で、どうしてハニさんだけが・・・母方の叔父さん達の中にひとり、背が高く薄毛の方が。。でもハニさんは背が低くて薄毛・・・



ハイハイ、人生そんなもんです～・・・・

かの優雅なアラブ文字はたった 28 文字。でも発音は日本語とは大違い。母音はアイウエオでは無くアイオのみ。書き方も学校で学ぶそうで、文字同志を繋げて書くには書道のような基本ルールがある(だから絵のように美しいんですが、難解な感じですよ)。 「愛」を表す言葉が 60 種類以上あったり、他にも花、夫、妻、等にも多様な言葉がある。「花」そのものの意味にですよ(菊とかユリとかではない)。その他には・・・ちなみに S.K さんの名前がアラビックではこうなります。



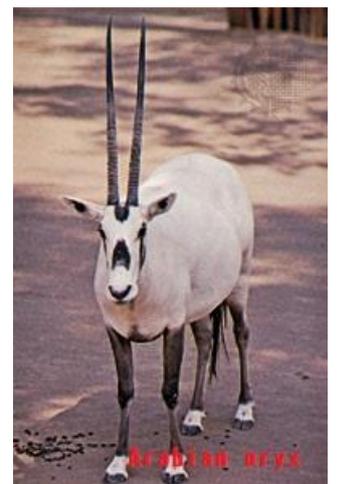
時間がおしてきて・・・洞窟もあるし、ヘナもするし、ソコトラ島の海岸線の白いのは雪ではなく塩、多様な楽器、ダンス、、、マンディー料理法(土に穴を掘り、炭+網+肉や野菜+炭+網+野菜・・・土を被せて蒸し焼き)

イエメンには4つの世界遺産がある。

- Old Walled City of Shibam シバームは都市の名。泥でできた、高層建築が建ち並ぶ。
- Sana 首都サナア市内には、泥でできた多くの建物がある。中には、巨大な岩の上に建っているビルも。
- Zabid サビードの町並みは、建物が全て真っ白。暑い海岸地域なので。
- Socotra Island 以上、上記 map で場所を確認して下さい。

Q&A

- 1、 観光者はオサケを飲めますか？はい。ホテルや特殊な店で。一般には目に見えない場所で見られるのでしょうか、ハニさん父も飲んでます。モスリムとしてはだめなのですが、ワイン工場とかもある。
- 2、 レンガ造りの家がありますか？ たいていは泥と石です。カラフルな石も使う。
- 3、 歯の健康について・・・既に書いた通り。





ハニさん。貴重で楽しいレクチャーありがとうございました。YEMEN が凄く身近になった気がします。